

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	12	図書館費
大	事業	001	図書館管理運営事業	中	事業	01	図書館管理運営事業		
小	事業								他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		図書館
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	図書館法			
根拠例規	有	坂井市立図書館条例、同条例施行規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画、坂井市子どもの読書活動推進計画			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
地域の情報拠点施設として4つの公共図書館を運営し、読書普及や情報サービスを提供することにより、地域や住民に役立つ図書館事業を推進する。

【事業の概要】

- 報酬（図書館協議会委員） 90 千円
- 賃金（臨時職員19名） 45,154 千円
- 報償費（講師謝礼、協力者謝礼） 738 千円
- 需用費 20,924 千円
- 役務費 1,050 千円
- 委託料 10,744 千円
- 使用料及び賃借料 16,440 千円
- 備品購入費 24,194 千円
- 負担金（県図書館協会費、日本図書館協会費） 39 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	74,219	63,012	50,246	11,207
	人件費	134,822	132,415	166,705	2,406
	総事業費	209,041	195,427	216,951	13,613
人員	正職員	15.15 人	14.40 人	17.68 人	0.75 人
	臨時職員	18.75 人	18.75 人	18.75 人	0.00 人
	人員計	33.90 人	33.15 人	36.43 人	0.75 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	546	389	361	157
	一般財源	208,495	195,038	216,590	13,456

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	市民一人あたりの貸出冊数	冊	目標	9	9	9	9	9
			実績		8.9	8.6	9	9
			達成率(%)	0.0	98.9	95.6	100.0	100.0
指標の説明								
指標	図書資料費	千円	目標	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000
			実績		24,000	24,000	23,600	23,600
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	98.3	98.3
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	29年度は大雪のため休館し、その分貸出冊数や来館者が減少しましたが、30年度は共に回復しました。市内4館で協力し、効率的な図書資料の収集や運営に努めました。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない			市民すべてが身近に利用できる地域の情報拠点としての図書館の運営は費用がかかりますが、広域的な市民サービスを考慮すると、4館の必要性は非常に高いと思われます。引き続き4館存続の方針のもと、今後も市民の多様なニーズに応えつつ、経費の抑制に努め、合理的な予算の執行に努める必要があります。
これまでの見直しや改善等の実績	図書館本来の魅力を高めるため、図書資料の充実を図りました。4館ともに行事やおはなし会の内容の充実や、来館者への接遇向上を図りました。図書館職員としての資質向上のため、研修にもできるだけ参加しました。老朽化が進む施設については、恒常的に修繕と整備を図り、利用者が快適に施設を利用できるようにしました。			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	子どもの読書活動推進事業	継続	お話し会、読み聞かせボランティアの支援、ブックスタート事業、講演会

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	
目標年度			
中長期的な方向性	継続		
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	施策項目					
実施事業名 (小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	12	図書館費
大事業	051	記念文庫等管理運営事業			中事業	01	記念文庫等管理運営事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり		所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実			図書館
総合戦略	政策パッケージ					
	施策					
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	有	図書館法				
根拠例規	有	坂井市立図書館条例、同条例施行規則				
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画、坂井市子どもの読書活動推進計画				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
中野重治記念文庫及び小葉田淳記念文庫の蔵書、遺品の維持管理・収集を行うとともに、記念講演会や行事を開催して、郷土の誇れる文学や歴史を次代に継承する。	
【事業の概要】	
○報償費（講師謝礼）	123 千円
○需用費	927 千円
消耗品費	225 千円
ポスター・パンフレット等印刷費	680 千円
光熱水費他	22 千円
○役務費（トイレ汲み取り料）	3 千円
○委託料（生家跡樹木剪定業務等委託料）	1,370 千円
樹木剪定業務等委託料	1,290 千円
清掃委託料他	80 千円
○使用料及び賃借料	230 千円
仮設トイレ借上げ料	22 千円
防犯カメラリース料他	208 千円
○負担金（中野重治の会負担金）	5 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	2,658	1,439	1,303	1,219
	人件費	6,130	4,551	10,374	1,579
	総事業費	8,788	5,990	11,677	2,798
人員	正職員	0.85 人	0.60 人	1.45 人	0.25 人
	臨時職員	0.25 人	0.25 人	0.25 人	0.00 人
	人員計	1.10 人	0.85 人	1.70 人	0.25 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	40	0	0	40
	一般財源	8,748	5,990	11,677	2,758

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	中野重治記念文庫見学者数	人	目標	650	650	600	550	400
			実績		508	637	558	543
			達成率(%)	0.0	78.2	106.2	101.5	135.8
指標の説明								
指標	小葉田淳記念文庫見学者数	人	目標	400	400	300	300	400
			実績		263	407	295	289
			達成率(%)	0.0	65.8	135.7	98.3	72.3
指標の説明								
指標	講演会参加人数	人	目標	300	300	300	300	250
			実績		269	279	289	289
			達成率(%)	0.0	89.7	93.0	96.3	115.6
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	講演会の参加者はほぼ目標値に達しています。29年度より見学者は減少傾向にあります。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない			例年、記念文庫に関する行事、講演会を開催し、郷土の偉人たちの周知、顕彰に努めています。記念文庫の資料を少しでも劣化しないよう保存作業を進めています。
これまでの見直しや改善等の実績	記念文庫の貴重資料に適宜、保存袋やブックカバーをつけています。今後も同様に保存作業を進めます。また31年度は歿後40年ということもあり、中野重治の作品集を刊行しました。（令和元年夏に発売予定。）			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	記念文庫運営事業	継続	くちなし忌式典、記念講演会、小葉田淳文庫記念講演会、記念文庫内資料保存作業

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性			
目標年度		方向性の理由	
中長期的な方向性			
目標年度	継続		

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	施策項目					
実施事業名 (小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						